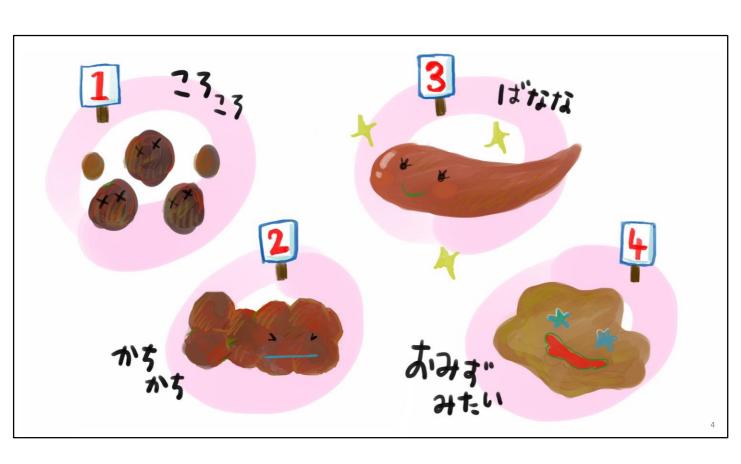




いーちゃんには、いつも気になるものがあります。 それは、お腹の中にある「あれ」です。 ぞうさん、さるさん、うさぎさんのお腹の中にもあります。 みんなは何かわかりますか? トイレに行くと、おしりから出てくるものです。 それ、なーんだ?(子供たちに聞く)



ジャーン! それは、ウンチです! いーちゃんは、ウンチのことが、いつもいつも気になっています。 毎日ちがう形のウンチが出るからです。 それから、硬い時や、柔らかい時もあるので気になります。



い一ちゃんの昨日のうんちは、硬~いウンチでした。 そこで、い一ちゃんから、みんなに質問です。 昨日のウンチは、どれだったかな?(どのウンチか子供たちに手を挙げてもらう)



硬いウンチの時、おしりが痛くなるので、い一ちゃんは硬いウンチは嫌いです。 みんなも硬いウンチの時、おしりが痛くなったことはあるかな?(子どもたちに手を挙げ てもらう)

では、硬いウンチが、いいウンチになるには、どうすれば良いと思う?(子供たちの意見を聞く)



い一ちゃんが、トイレに座っていると、どこからか声が聞こえます。 小さな、かわいい声が聞こえます。 あれっ? もしかして・・・ い一ちゃんが、そ一っと便器の中を覗いてみると、ウンチが一生懸命い一ちゃんに話 かけています。



「いーちゃん、あのね。」 「いいウンチをする方法を言うから、よーく聞いてね。」 いーちゃんが耳をすましていると

「だいじなことが3つあるよ。」

「1つ目は、食べ物のこと。お肉、お野菜、お魚、果物を好き嫌いなく、よ一く噛んでたくさん食べるんだよ。」

「特に朝ごはんは、しっかり食べることだよ。」(子供たちに何が好きかな?なにを食べればよいかな?と意見を聞く)



「2つ目は、お外でいっぱい遊ぶことなんだ。」 「い一ちゃんは、どんな遊びが好きなの?」 「縄跳び? 鬼ごっこ? かくれんぼ? みんなで遊ぶと楽しいよね!」



「3つ目は、ボクからの合図に気づいてほしいんだ。」
「どう言うことかというと、ボクが外に出たくなったら、『おーい、ウンチだよー!』って合図をするから、すぐにトイレに行ってほしいんだ。」
「ガマンすると、外に出られなくなって苦しくなっちゃうから、すぐにトイレに行ってね。約束だよ!」



約束を守り続けたい―ちゃん。 すると、トイレに行くと、スルスル~ ポトン! あれ? おしりが痛くない! もしかして、いいウンチが出たのかな? 「その通り。ボクは、いいウンチ! 約束を守ってくれたから出られたんだよ!」



「いいうんちが出たあとは、お腹がスッキリするよね。」 「それって大切なことで、身体が喜んでいる合図なんだよ。」 「その時は、お家の人にもスッキリしたって伝えようね。」 みんなも今度、うんちをした時は、どんなうんちが出たのか、しっかり見てくれるかな? (子供たちの同意を得る)



「あっ、そうそう、みんな『うんちっちたいそう』って知ってる?」 「お腹が元気になる体操なんです。い一ちゃんは身体を動かすの好きかな?」 「大好きー! みんなも一緒にやってみよう!」